

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2025 年 6 月 18 日作成 第 1.0 版

研究課題名	人工呼吸を受けた患者における抜管前の気管内吸引回数の経時推移と抜管の成否の関連の解析
研究の対象	2018 年 1 月から 2025 年 3 月の間に、横浜市立大学附属病院の集中治療室に入室し、72 時間以上の人工呼吸を受けた方を対象とします。
研究の目的	人工呼吸中を受けた場合に、人工呼吸離脱・気管チューブ抜去（抜管）の前の気管分泌物量の経時変化が、抜管の成否にどのような関連があるかは分かっていません。本研究では気管内吸引の回数を気管分泌物量の指標として解析し、抜管前の経時パターンと抜管の成否の関連を解析します。
研究の方法	診療録から情報を収集して、抜管前の気管内吸引の回数の経時パターンと抜管の成否の関連について検討します。 いずれも通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	西暦 2025 年 9 月 3 日（研究機関の長の許可日） ～ 西暦 2027 年 3 月 31 日 情報の利用を開始する予定日：西暦 2025 年 9 月 3 日（研究機関の長の許可日）
研究に用いる 試料・情報の項目	【情報】診療録、麻酔記録から以下の情報を収集します。 ・ 背景情報：年齢、性別、身長、体重、BMI、病名、入室経路、入室目的、既往歴、合併症、重症度(SOFA スコア、APACHE II スコア) ・ 臨床検査の結果（ICU 入室時、入室後 24 時間ごと）： ・ 臨床所見（ICU 入室中）：バイタルサイン、鎮静レベル、意識レベル(GCS)、せん妄スコア、気管吸引の回数と量、性状 ・ 治療内容（ICU 入室中）：投与薬剤、投与輸液・輸血製剤、人工呼吸器の期間と設定、腎代替療法使用の有無 ・ 転帰：抜管の成否、人工呼吸期間、ICU 滞在期間、入院期間、院内死亡
試料・情報の授受	本研究では、外部機関との情報の授受はありません。 情報は、当院で少なくとも 5 年間保管しますが、個人が特定できないよう加工した情報については、本研究の目的以外の学術研究に用いられる可能性または他の研究機関に提供する可能性があるため、保管期間終了後も期間を定めず保管します。 廃棄する際は、個人を特定できないように処理した上で検体は院内の規定等に従って廃棄し、情報は復元できない方法で廃棄します。

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

個人情報の管理	情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありません。
試料・情報の管理について責任を有する者	当院の個人情報の管理責任者は病院長ですが、その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学附属病院 麻酔科 東條 健太郎
利益相反	本研究は、研究責任者が所属する診療科の基礎研究費および科研費「細菌叢解析とプロテオミクスによる人工呼吸患者の気道分泌物増加メカニズムの解明」を用いて行います。本研究における開示すべき利益相反はありません。
研究組織（利用する者の範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属病院 麻酔科 （研究責任者）東條 健太郎
本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。	
問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 麻酔科 （研究責任者・問い合わせ担当者）東條 健太郎 電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-787-2916	